

THE 33rd  
ALL JAPAN  
TEACHERS'  
ENGLISH SPEECH  
CONTEST

第33回

全国中学高校教員による  
英語弁論大会

2011 実施要領

主 催

財団法人国際教育振興会

後 援

文部科学省、財団法人日本英語検定協会、  
米国大使館、カナダ大使館、ブリティッシュ・カウンシル、  
国際交流基金日米センター、朝日新聞社、  
国際文化会館、日米協会、桜美林学園、専門学校新聞社、日米会話学院、  
全国英語教育研究団体連合会、他

(一部申請中)

主催団体連絡先

〒160-0004 東京都新宿区四谷1-21  
財団法人国際教育振興会 事業本部 英語弁論大会係  
電話03-3359-9620(月～金 9:00～17:00)

詳細はホームページでご覧下さい。

[www.nichibei.ac.jp](http://www.nichibei.ac.jp)

財団法人国際教育振興会は過去に昭和38年(1963)から平成5年(1993)まで合計31回にわたって、日本英語検定協会をはじめその他の教育団体、文部省のご協力やご後援をいただいて現職英語教員による英語弁論大会を開催しました。その後、いわば第一次英語学習熱の全国伝播が終了し、国内各地域に有力な英語学習の拠点が確立されるにつれて、同大会への参加者の数も次第に減少し、弊振興会では当初の目的は達成されたと判断してその大会を休止いたしました。

しかし近年、改めて日本の国際化の推進、学校での英語教育方法の再検討が求められ、とくに文部科学省が学校教育を通じての「英語の使える日本人」の育成に注力することになりました。小学校での英語教育の導入、高校での英語授業に英語を使用するなどの新方針が確定されています。

このような状況の中で中学高校の英語教育の現場ではますます英語教員の指導力増強が求められます。長年、国際教育交流、英語・日本語教育、国際理解教育の分野で微力を尽くしてまいりました弊振興会では、毎年夏に、文科省のご後援をいただいて現職英語教員のための「英語教育方法研究セミナー」を開催し、本年はその11回目を迎えました。

財団法人国際教育振興会は現職教員の英語力増強を推進、支援するために、この英語弁論大会を通して、学校現場での英語教育の推進に資することを希求すべく昨年より再開いたしました。現職の教員によるこのような個々の実力開示と競技の場への参加は、必ずやその指導下の生徒たちに対して有意義な教育的な刺激を与えるものと思われまます。

このような大会再開の趣旨にご賛同とご協力を賜りたくお願い申し上げます。

## <実施要領>

### 日 時

2011年11月20日(日)午後1時開始

### 開催場所

桜美林大学大学院地下ホール(下記の国際教育振興会と同一の住所)

### 演 題

- ①異文化理解 ②英語教育 ③世界・アジアの中の日本  
④教育と社会、などの関連で広義に自由に設定。

### 制限時間

7分以内、時間超過の場合は減点の対象とする。  
スピーチ終了後審査員との間に内容に関する英語での質疑応答あり。  
過度の演出、演技および小道具の使用は禁止。

### 出場資格

中学、高校の現職教員であること。常勤、非常勤を問わない。(原則として英語圏の国に)合計で3年以上の居住経験のあるもの、英語圏の国籍の両親または片親を持つ方を除く。

### 審査基準

- ①主題の良否(聴衆の興味と関心と呼ぶ時宜を得た主題であり、これを論ずることに意義が認められるか)  
②事例の適切さ(取り上げられる事例は主題を説明する上で十分かつ適切なものであるかどうか)  
③内容の構成(独自の見方、考え方が適切に表現され、主題が論理的かつ効果的に整然と展開されているか)  
④語句の使い方(主題、内容にふさわしい語句を選んでいるか、英語の発音、抑揚、文法は適切か)  
⑤話し方(表情、動作などが自然で、好感が持て、かつ説得力があるか)  
⑥質疑応答(準備されたスピーチ以外の場における口頭での対応は適切か)

### 出 場 者

予選審査を通過した者。本大会でのスピーチの順番は、主催者において決定します。予選審査は英文のスピーチ原稿と音読されたスピーチの音源によって行います。

### 表 彰

- 第1位 文部科学大臣賞・賞状、賞杯  
第2位 主催団体特別賞・賞状、賞杯  
第3位 奨励賞

### 本選審査員(予定)ABC順

ブルース・パートン 桜美林大学学長特別補佐  
ジョン・フリーマン 東京大学特任准教授  
沼田貞昭 日本英語交流連盟会長  
大井恭子 千葉大学教授

### 応募方法

- ①所定の申込書(ホームページからもダウンロードできます)  
②スピーチの原稿(A4サイズ、ダブルスペースでプリントアウトしたもの)  
③スピーチを録音したカセットテープ、またはCD  
④顔写真1枚(3×4cm)申込書指定欄に貼付  
上記①～④までを一緒に下記宛に郵送してください。なお、ご応募いただいた書類等一式は返却いたしませんのでご了承ください。

### 送 り 先

160-0004 東京都新宿区四谷1-21  
財団法人国際教育振興会 英語弁論大会係 宛て

### 応募締切

2011年9月30日(金)必着。

### 予選の選考結果発表通知

2011年10月21日(金) までにE-mailにて連絡します。

### その他注記事項

- 本選出場者の方には自宅から当日の会場までの往復交通費を支給します。但し公共の交通機関のみでタクシー代は個人負担となります。
- 遠方の方には会場近辺の宿泊を提供します。但し出場者の方のみで付き添いまたは応援の方の費用は個人負担となります。
- スピーチ原稿の著作権は主催団体に帰属します。
- 個人情報の管理に関しては主催団体が責任を持って取り扱います。

### 問合せ先

〒160-0004 東京都新宿区四谷1-21  
財団法人国際教育振興会 事業本部 英語弁論大会係  
電話03-3359-9620(月～金 9:00～17:00)  
Eメール benron@iec-nichibei.or.jp  
詳細はホームページでご覧下さい。www.nichibei.ac.jp